TUFS Cinema
Tokyo University of Foreign Studies

日本・フィリピン
交差する日比映画特集



日本とフィリピンの周縁から——影裏3部作（The Depth of Blue）

TUFS Cinema とは……

東京外国語大学TUFS Cinemaは、
映画を通じ、世界の諸地域における
社会・歴史・文化の理解を深めることを
目的として行っています。

今回の三部作は、日本とフィリピンが
交差する周縁から、親による子への贖罪、
若者の葛藤、日本の孤独死に焦点を当てます。
これらは、私たちが看過したり、
目を背けてきたテーマであり、私たちの
世界の感じ方を不安定に、そして豊かなものに変えていくでしょう。

上映作品①
水の中で育てられた子どもたち（17分）

上映作品②
日本とフィリピンを生きるストーリー
ケン編（26分）

上映作品③
沈黙との出会い（30分）

上映日時 2026年
11月28日【土】
14:00 開演（開場13:40, 終了予定16:10）

場所 東京外国語大学
アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
（東京都府中市朝日町3-11-1、西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分）

プログラム
挨拶 14:00-14:05
3作品の本編上映（合計73分）
上映後解説／トーク 15:35
長谷川 大知（監督）
曽我 満寿美（プロデューサー／本作配給）
司会 日下 渉（東京外国語大学
大学院総合国際学研究院 教授）

共催 東京外国語大学TUFS Cinema
Spanic films合同会社
協力 東京外国語大学多言語多文化共生センター

入場無料
事前登録者 優先 ▶▶▶
https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc261128form/

※事前登録で優先入場をご利用いただけます。上記のQRコードから事前にご登録のうえ、当日は受付の際、事前登録完了メールをご提示ください。なお、事前登録はWeb限定となります。

[お問い合わせ]
東京外国語大学 広報・社会連携課
（TUFS Cinema担当）
TEL 042-330-5441
平日9:00-17:00（12:00-13:00は除く）
Email tufscinema@tufs.ac.jp

詳細は TUFS Cinema ウェブサイトにて
https://www.tufs.ac.jp/tufscinema/

SPANIC FILMS

上映日
2026年11月28日〈土〉
14:00上映開始（13:40開場、16：10終了予定）

本上映会をナビゲートする日下渉教授がゲスト出演！

ポッドキャスト番組『ママタルトの地球ディッシュカバリー～東京外大の先生と一緒～』にて、フィリピンの独自の魅力や、今回の上映作品でも描く「日本とフィリピンのはざま」について熱く語っています。
映画の予習・復習に、ぜひ耳でもフィリピンの世界を味わってみてください！

交差する日比映画特集
日本とフィリピンの周縁から――影裏 3 部作（The Depth of Blue）

① 水の中で育てられた子どもたち

［フィクション］
監督・脚本：ジャヌス・ヴィクトリア
主演：古舘寛治
2022年／フィリピン／17分／フィリピン語・英語／日本語字幕
原題：Laki sa Tubig / 英題：Raised in Water

あらすじ
日本人とフィリピン人を両親に持つ子ども（JFC: Japan Filipino Children）は、フィリピンに10万人以上いるとされる。幸せな家族を持つ子どももいるが、様々な事情で父親と連絡を取れなくなった子どもも少なくない。本作は、沈みゆくマニラ湾の島で、年老いた日本人男性が子供の頃に捨てた娘を探す物語。



② 日本とフィリピンを生きるストーリー ケン編

［ドキュメンタリー］
監督：長谷川大知
出演：イシカワ ケン
2025年／フィリピン／26分／英語・日本語／日本語字幕・フィリピン語字幕
英題：Stories Living Japan & The Philippines: Ken's Story

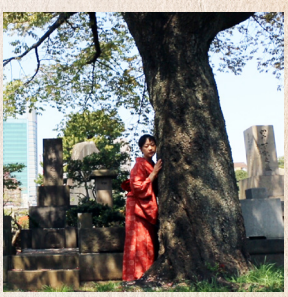
あらすじ
ビートボクサー（口、鼻、喉などでリズムと音と奏でる音楽家）兼シンガーソングライターの長谷川大知アーティスト名Viva）が、JFCのケンに取材し、彼の深いアイデンティティの葛藤を繊細に掘り起こしていく。異なる背景を持つ人々が相互に理解し合える社会を作ることを目指して、クラウドファンディングで作られた。



③ 沈黙との出会い

［ドキュメンタリー］
監督：ジャヌス・ヴィクトリア
出演：山崎阿弥、藤田明、郡山総一朗
2016年／フィリピン／30分／日本語・英語／日本語字幕
英題：Encounters with Silence

あらすじ
フィリピンでは人と人の繋がりが何よりも大切にされるため、監督にとって日本の孤独死は大きな衝撃だった。彼女は、孤独死した人々のアパートを清掃する男性、孤独死の余波を記録する写真家、老齢になってもなお自立を強く守る老女、そして周囲の静寂を突き破るように歌を歌うアーティストとの出会いを通して、沈黙と向き合う。



本作について

本企画では、フィリピン人のジャヌス・ヴィクトリア監督と、JFC(Japan Filipino Children)の長谷川大知監督が、日本社会を対象に作った作品を取り上げます。彼らの作品は、日本とフィリピンが交差する周縁をしっかり見据え、私たちが気付かなかったり、見て見ぬふりをしてきたテーマをあぶりだし、日本社会の見慣れた風景を異化していきます。

こうした他者の視点は、私たちが自分の生活や人生を再発見し、新たな生き方、家族、社会のあり方を模索していくきっかけを提供してくれるはずです。

なお、ヴィクトリア監督の長編映画『Diamonds in the Sand（英題）』(日比合作、リリー・フランキー主演)が、2027年1月に公開予定です。長谷川大知監督も、Vivaの名で積極的に音楽活動をされています。ぜひSNSなどをチェックして、劇場やライブに足を運んでみてください。

上映後解説／トーク

長谷川 大知（監督）
曽我 満寿美（プロデューサー／本作配給）
日下 渉（東京外国語大学 大学院総合国際学研究院 教授）

会場
東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
（東京都府中市朝日町3-11-1）

交通アクセス



◆JR中央線「武蔵境」駅のりかえ 西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分（ＪＲ新宿駅から約40分）
◆京王電鉄「飛田給」駅北口より多磨駅行き京王バスにて約10分「東京外国語大学前」下車

お問い合わせ
東京外国語大学 広報・社会連携課（TUFS Cinema担当）
TEL　042-330-5441 平日9：00～17：00（12:00～13:00は除く）
Email　tufscinema@tufs.ac.jp
Facebook @tufscinema.pr　X(Twitter) @tufscinema

上映会の詳細はこちら
https://www.tufs.ac.jp/event/2026/261128_c01.html